

韓国カトリック大学臨床実習参加者からのメッセージ ～臨床実習の感想～

韓国の医学生や医師との交流が刺激になりました

韓国カトリック大学で1ヶ月学べたことは札幌では得がたい大変貴重な経験でした。旅行以外では海外は初めてであり、医学生としての知識だけでなく、語学や日常生活にも不安がありました。意外に何とかなったのではないかと思います。伝える努力を怠らなければ、不甲斐なく思うことはあっても大切なことが伝わらないということはありませんでした。

日々の課題やディスカッションへの参加は楽ではありませんでしたが、先生方はとても熱心かつ親切で、本当に楽しく学ぶことができました。何より、韓国の医学生や医師と交流し、医学やお互いの国への思い、将来の夢について語り合ったことはとても刺激になり良い思い出です。また、英語で医学を学ぶことの重要性や、自分に足りないものを痛感できたことは、今後の大きなモチベーションとなりました。

循環器内科では全ての説明や講義が英語で行われ、最初は戸惑いましたが、2週間のうちに課題をこなしたり積極的に質問できるようになりました。また、ジャーナルの内容のプレゼンテーションを英語で行ったことを先生方が褒めて下さり、翌週から韓国の医師も学生も英語で発表することとなったと聞き、成果を残すことができ嬉しかったです。

産婦人科では、多くの自然分娩や帝王切開を見て、ダビンチを用いた手術に入ることができ感動しました。

どちらの科も学生と一緒に実習を受け、勉強熱心な姿勢や英語力の高さにとっても刺激を受けました。学生によるOSCEの練習や勉強会にも参加しましたが、同学年とは思えないほどの知識と実力があり、普段からの積み重ねによる自分たちとの差が見受けられました。

今回の経験を活かし日々の学習に力を入れ、北海道の医療に貢献できるよう努めたいです。



～臨床実習の主な内容～

○放射線科の場合

- ・各部門での読影の見学、レクチャー、実践
(部門) 胸部、腹部、心臓血管、筋骨格系、脳神経、小児、肝胆膵、乳腺
- ・心血管系、脳神経系のIVR見学
- ・エコー見学
- ・レジデント勉強会への参加

